

かなさ保育園自己評価

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

●社会性 一般常識●

あいさつ・電話・来客対応ができ、言葉遣いに気を付け、常に笑顔をかかける。

	内 容	A	B	C	D
1	相手に対して正対し、目をきちんと合わせ、あいさつや会釈もきちんとできる	17	9	0	0
2	保護者、来客に対して季節・時間に合わせた好感の持てるあいさつができる	13	11	0	0
3	電話が鳴ったら早く出るようにし、相手を長時間待たせないようにしている	20	3	1	0
4	電話の用件は間違いないようメモに残し、確認や伝達を行っている	15	8	1	0
5	周囲の人や来客に清潔感を与える対応や身だしなみを実践している	15	11	0	0
6	いつも笑顔で対応できる	19	6	0	0
7	きれいな言葉遣いで、心地よい会話ができる	10	15	1	

仕事に適した身だしなみに注意している

8	子どもの発達段階を意識し、活動的で子どもが心地よく感じられる服装を心掛けている(背中が出る服、襟ぐりが広すぎる服→×)	21	4	0	0
9	髪が顔にかかったり爪が伸びたりなど、不衛生にならないよう日頃より気を付けている	13	10	1	0
10	子どもたちが着ると安全でない服装は保育士も着ないようにしている(フード付き等)	19	4	1	0
11	夏のプール遊びは、一緒に入るなど子どもの活動に即対応できる服装で保育をする	15	7	1	0
12	災害時に対応できる上履きを履いているか	12	7	4	2
13	仕事着は、毎日清潔なものを身に付けているか	24	3	0	0
14	髪の毛の色は明るすぎているか。長い髪は結び、先の危ないヘアピンは使用不可)	13	14	0	0
15	爪は、伸びていないか、派手なネイル、パーツはついていないか	16	10	1	0

自己の健康管理ができる

16	睡眠を十分にとり、勤務に支障をきたさない、規則正しい生活を送っている	20	7	0	0
17	体調不良の時は速やかに通院している	14	13	0	0

上司の指示や定められた規則、手続きを守ることができる

18	上司の指示を実行し、結果を報告している	18	9	0	0
19	就業規則等、諸規則を理解し、規則を守る生活を心掛けている	19	4	1	0
20	小さなことでも、仕事上不安なことは上司に相談している	19	7	0	0

園における保護者支援について理解している

21	入所時の保護者支援及び地域の子育て家庭への支援事業等)双方に、積極的に取り組まなければならないことを理解している	20	3	1	0
----	--	----	---	---	---

園における保護者に対する支援の基本・入所児の保護者との相互理解に努めている

22	子どもの最善の利益を考慮し、保護者の気持ちを受け止め、保護者1人1人の自己決定を尊重することを理解している	14	8	0	0
23	保護者と子どものプライバシーに留意し、必要に応じて地域の関係機関等と連携、及び協力を図ることを理解している	17	5	0	0

24	子どもの送迎時や行事などの様々な機会を通し、子どもの様子や保育の意図を説明し、保護者との相互理解を図っている	11	9	1	0
----	--	----	---	---	---

公平に人の話を聞いたり、話したりし、正確に伝達できる

25	協力体制の重要性を認識し、上司・同僚等と調和をとっている	20	5	0	1
26	苦手な人こそ、その人の話を聞くように努めている	12	12	2	1
27	苦手な人とも一緒に活動するようにし、公平性を保っている	15	9	2	1
28	職場内の業績を向上させるためには、職場内にもきちんとした対応をお互いに気をつける	20	6	0	0
29	自分の意見を話すだけでなく、相手の意見に偏見を持たずに聞くようにしている	29	6	0	0
30	分からない場合は、その旨正直に伝え再確認している	20	7	0	0
31	業務追行にあたって正確・迅速かつ、こまめに上司に報告・連絡・相談を実践している	15	11	0	0

●保育士等の意欲・姿勢●

自分の職務に積極的に取り組むことができる

32	就業時間の5分前には身だしなみをしっかりし、勤務についている	18	3	4	0
33	指導計画を基に、日々の乳幼児の状況に沿った保育をしている	9	13	0	0
34	毎朝、行事予定表・日案に目を通し確認、記憶している	6	14	4	0
35	進んで保護者に話しかけることができる	11	11	0	0
36	翌日の出張者・欠勤者を確認できる	8	12	4	0
37	自ら進んで勤務を完全遂行する積極的な姿勢がある	16	9	0	0

38	係や仕事の分担・割り当ては適切か	9	16	0	0
39	避難訓練・交通安全指導を計画的に基づいて適切に実施しているか	15	10	0	0
40	年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか	6	16	1	0

1

職務のなかで、不都合な事の改善及び提案ができる

41	会議等で積極的に発言できる	5	13	6	0
42	「皆がやっているから」「以前からの習慣だから」という思いにとらわれない	5	18	5	0
43	自分だけの不都合かどうか、客観的に考えることができる	7	13	1	0
44	考えたこと、思いついたことを上司に相談できる	11	13	1	0

自己研鑽を積むことができる

45	人間としての資質を磨くように努力する意欲がある	13	10	1	0
46	保育士としての基本である研修に取り組む意欲をもっている	14	7	1	0
47	苦手な分野の情報や研修を知ろうとする意欲がある	12	8	3	0
48	保育行政や他施設の保育内容に関心がある	10	13	0	0
49	保育に関する情報誌、専門書またはインターネットなどの外部情報を取り入れている	6	14	2	0
50	指定された研修以外に、自分で知りえた研修への参加ができる	10	5	4	3
51	研修報告などで気が付いた事を自分の業務に反映できる	8	13	2	0

子どもへの接し方

52	全ての子どもをほめている	13	10	0	0
53	子どもを呼び捨てにしない	11	9	0	4
54	子どもの目線で聴いている	10	14	1	0
55	園児に対して「はやく」「ダメ」など使わず的確な言葉で話し納得させている	10	14	0	1
56	子どもが手伝う姿を見た時、必ず声掛け、周りの子どもに気付かせている	13	10	0	0
57	子どもに注意した後も最後は励まして元気づけている	12	8	0	0

●指導力・職員間●

職員間で連絡体制が確立されている。職員間で協調性や信頼感がある

58	職員間において常に報告、連絡、相談の体制ができている	13	9	2	0
59	連絡されたことが的確に記録されている	12	11	2	0
60	園の方針、活動の目的、または問題意識の共有などを職員間で共通理解し、協力できる	16	8	0	0
61	園の理念・保育目標を理解	17	5	1	0
62	職務上の事案と私的な事案を明確に区別することができる	19	4	0	0
63	同僚に対して相手を思いやる言動ができる	19	6	0	0
64	お互い(職員間)が「ありがとう」を言う習慣になっている	22	3	0	0
65	いつも励ましの声を掛け合っている	22	3	2	0
66	小さなことでも、良いことはほめることを習慣にしている	20	4	2	0

後輩に適切な助言や的確なフォローができる

67	コミュニケーションをよくとり、後輩が安心して相談できるよう心掛けている	18	5	1	0
68	先輩は後輩の見本になり、適切に指導することができる	12	13	2	0
69	後輩は先輩の指導を素直に受け入れることができる	17	6	0	0
70	後輩の保育士、先輩の保育士の垣根を越え、互いの長所・短所などの相互理解を深めるように努めている	15	6	0	0
71	適切な助言をするために、全体の状況を見渡せる能力が身についている。また、その時々保育の方向性(目的)を正しく理解している	5	12	3	0
72	困ったときは、互いに適切な援助をすることができる	15	10	0	0

他人の心情・立場を理解し、物事を判断し援助できる

73	相手がどのような思いでその言葉を発し、行動をとったかを考えることができる	9	14	1	0
74	さまざまな職業の保護者の立場を理解し、一律に保護者の非難をしない	3	9	0	0
75	長時間保育の保護者に、ねぎらいの言葉をかけている	12	8	1	0

保育事業に関心、福祉サービスの多様化に関心を持っている

76	多様な子育てニーズを把握するよう、保護者との会話に注意を払い、情報交換している	11	9	0	0
77	特別支援保育、延長保育、土曜保育等に対する事業の趣旨を理解している	15	6	0	0
78	地域子育て支援、保護者支援の事業の趣旨を理解している	12	7	2	0

79	自分の受けた保育・子育てニーズに固執せず、現状に応じて柔軟に対応するよう心掛けている	13	8	0	0
80	保育行政を理解し、自分の園でできることは何かを考え、取り組んでいる	4	15	2	0
81	研修会などに積極的に参加し、保育界の動向に注意を払っている	4	11	4	1
82	保育情報誌やマスメディア等の情報～、福祉サービスの変化に注意を払っている	3	17	2	0
83	社会保障、日本の子育ての現状や未来という大きな事項に対して興味を持ち、情報を蓄える	4	16	4	0

- ・周りに頼りになる先生方に恵まれ、毎日楽しく仕事をしています。また、園長・副園長・主任・リーダーへすぐに相談できる環境のため、とても働きやすい仕事場で感謝しています。1歳児担当で初めは不安もありましたが毎月の個別（指導案）を通してみんなの成長を感じることが楽しみでした。反省点は、降園の際子どもの様子ばかり伝え準備物など伝え忘れがあり、お便り帳やコドモンでの配信を行えるように心がけたい。
- ・保護者対応の難しさを感じた。保育士間で情報共有していると思っていたが情報が抜けていることがあった。保護者に対しての言葉使いには常に気を付けていきたい。職員間の連携を密に取り、子どもたちの良いところを伸ばしていけるように温かい雰囲気作りを心がけていった。
- ・保護者の家庭環境など配慮しながら気持ちによりそっていきたい。
- ・保育中は、どんなことがあっても子どもからは視線を意識してコミュニケーションを取るように興味関心具体的に場面ごとに書き留めその子の感じていることを言葉で表現していけるよう見守っていきたい
- ・2歳児クラスの担任でたくさんの勉強になり、考えさせられる事が多い年でした。保育士が楽しい雰囲気の中で働くことで子どもたちがとても良い環境になった。相手を思いやる気持ち、自分を大切にする気持ちを忘れずにいきたい。
- ・周りの職員と協調性を持ちながら楽しい保育を。音体活動にも積極的に関わり自分自身の得意とする分野を生かして活きたい。子どもたちの成長や小さな変化にも気づけるよう丁寧な保育を心がけていた。保護者支援委も目を向けるよう心掛けていった。
- ・初めての年長児クラスを受け持ち戸惑うことや不安に思うこともあったが、沢山のサポートのおかげで充実した1年を過ごすことが出来た。多くの学びがあり自分自身も成長でいた1年だった。子ども達への声かけの仕方や保護者支援にもしっかりと目を向けて向上できるよ努めたい。
- ・日々の業務を覚え各年齢に合わせた遊びや保育の知識を身につけ、園行事やイベントの準備の流れを4把握していきたい。・報告・連絡・相談を徹底し、先輩保育士と連携しコミュニケーションを密にできた。園の理念や保育指針、目標を意識し、保育を行っていき、子ども達や保護者に寄り添う保育士を先輩保育士から学んでいきたい。